

事務事業名		幼稚園総務管理事業		所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課	
総合計画体系	政策名	(Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	教育・保育グループ	課長名	狩野 明芳	
	施策名	(26) 子育て支援の充実		担当者名	田中 幹子	電話番号	0854-40-1044	
	目的	対 子どもの保護者と産み育てたい 意図 安心して子育てができる。				(内線)	2253	
	対象	夫婦			予算科目	会計 款 大事業 大事業名	幼稚園総務管理事業	
	基本事業名	(078) 子育てと仕事の両立支援			0 1 5 0 0 2	中事業 中事業名	幼稚園総務管理事業	
	目的	対 保護者 意図 仕事と子育てを両立できる。				2 0 0 5 0 1	中事業 中事業名	幼稚園総務管理事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園運営のための維持管理を行う(水道料、電気料、電話料、郵券料、コピー賃借料、印刷機賃借料、通信機器賃借料、用地借地料、入札、契約締結事務)</li> <li>・園児の健康診断の実施、学校環境衛生の整備(専門医検診(耳鼻科・眼科)、各種検査申し込み、各園へ検査機関の通知、各園へ環境衛生検査の結果の通知、支払い事務)</li> <li>・嘱託園長報酬支払</li> <li>・臨時職員配置(講師・代替え職員賃金の支払い)</li> <li>・こども園預り保育実施(決定通知の送付、預かり保育担当臨時職員賃金の支払い)</li> <li>・市内の幼稚園入園者の入退園に関する事務(幼稚園保育料の徴収等)</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	維持費の支払い 園児の健康診断の実施、学校環境衛生の整備 臨時職員配置 こども園預り保育実施 入園転籍事務	維持費の支払い 園児の健康診断の実施、学校環境衛生の整備 臨時職員配置 こども園預り保育実施 入園転籍事務			
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア	幼稚園数	園	11	11	9	9
イ	幼稚園・こども園保育料現年分調定額	千円	16,991	11,148	11,169	12,351
ウ	幼稚園保育料過年度分調定額	千円	811	868	823	540
エ	預かり保育を利用している園児数	人	53	58	37	40

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア	幼児数	人	283	252	206	213
		イ	教職員数	人	40	37	45	47
		ウ						
	安全で快適な幼稚園環境を整える 地域住民が出入りしやすい幼稚園にする 保護者の子育て環境を確保する	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
		ア	園児1人当たりの維持費	千円	100.8	158.4	255.0	255.4
		イ	園における預かり保育利用者数(保護者数)	人	47	53	35	38
		ウ	預かり保育利用日数(述べ日数)	日	345	336	406	380

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)		② コストの推移		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
報酬	10,200千円	財源内訳	国庫支出金	千円	46	0	859	2,497
賃金	28,358千円		県支出金	千円			859	2,497
報償費	1,225千円		地方債	千円				
旅費	220千円		その他	千円	744	704	865	663
需用費	5,250千円(光熱水費・消耗品等)		一般財源	千円	27,726	39,212	49,955	48,751
役務費	1,557千円	事業費計(A)	千円	28,516	39,916	52,538	54,408	
委託料	4,077千円	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
使用料・賃借料	1,618千円		延べ業務時間	時間	300	300	300	
備品購入費	11千円	人件費計(B)	千円	1,166	1,174	1,190		
償還金	22千円	トータルコスト(A)+(B)	千円	29,682	41,090	53,728		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
嘱託園長の増、預かり保育担当臨時職員の配置により、報酬・賃金の増加。	四半期ごとの各園分の光熱水費の使用状況を把握し、園に通知している(経費の削減要請)。 H28年度～木次こども園、加茂こども園は民生費から支出。	・3歳児クラスへの講師追加配置。 ・3学年クラスの園においては、園児の安全確保のため、補助員の配置。

事務事業名	幼稚園総務管理事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
-------	-----------	-----	--------	-----	--------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	預かり保育を実施していない幼稚園では、実施要望があり、対応することで利便性が向上する。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	幼稚園運営のためのものである。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業運営に必要な最小限の経費であり、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	例月の支払事務を集中処理している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	幼稚園の運営のための維持管理であり公平である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 維持費については、節減に努める。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上		●																
	維持		×																
	低下	×	×																
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児へ環境についての指導を行い、節水、節電等に努める。</li> <li>・本来ならば正規職員での補充が望ましいが、財政上やむを得ない場合もある。その部分を引き続き臨時職員でカバーしなければならない。</li> <li>・幼稚園型認定こども園に移行することにより午後の保育に必要な職員体制の検討。</li> <li>・保護者への滞納問題の啓発、滞納者への支払計画相談。</li> </ul>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		